

第2回六角川・松浦川学識者懇談会

〔松浦川水系河川整備計画の点検について〕

＜参考資料＞

平成26年10月23日

国土交通省 九州地方整備局
武雄河川事務所

1 松浦川水系河川整備計画の概要

松浦川の概要

〔松浦川流域の概要〕

水源	せいらざん 青螺山（標高599m）
流域面積	446km ²
幹川流路延長	47km
国管理区間	63.3km
流域内市町村	佐賀県：唐津市、伊万里市、武雄市の3市
流域内人口	約9.3万人（平成22年国勢調査資料より）
想定はん濫区域面積	50.8km ²
想定はん濫区域内人口	約2.5万人（平成22年国勢調査資料より）
想定はん濫区域内資産額	約4,608億円（平成22年国勢調査資料より）

〔流域図〕



〔下流部〕



〔中流部〕

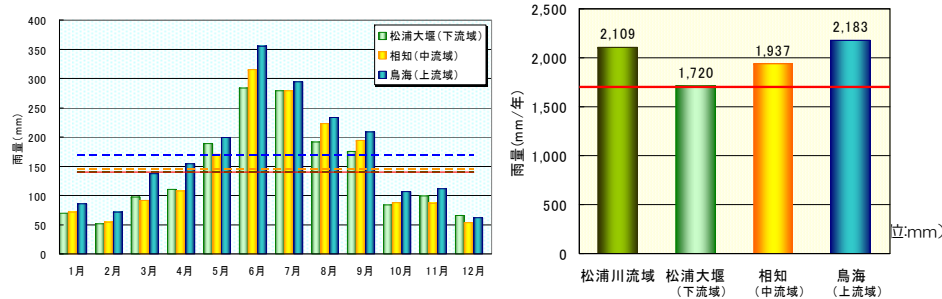


〔上流部〕

1 松浦川水系河川整備計画の概要

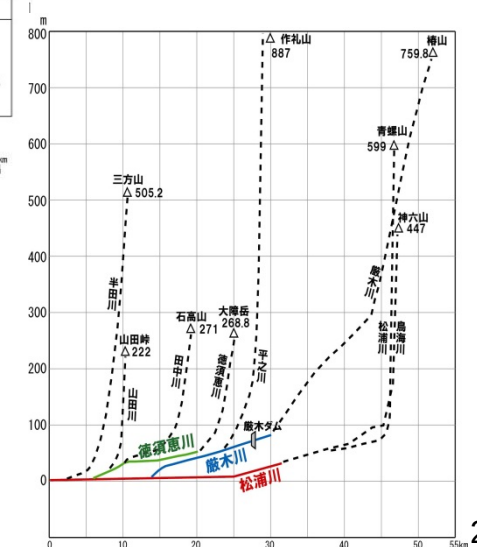
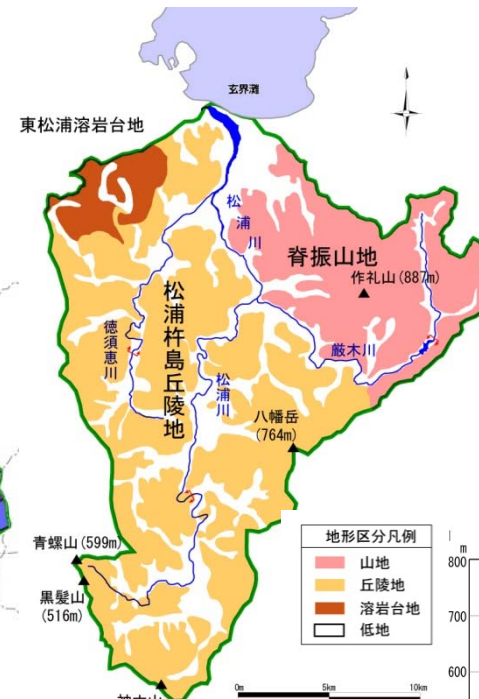
〔降雨特性〕

- 年平均降水量は約1,900mmで、全国平均（約1,700mm）の約1.2倍。
- 降水量の大部分は、梅雨期（6,7月）に集中。



〔流域の地形〕

- 松浦川および徳須恵川は、標高が約400～500mの山地を源流としており、河床勾配は約1/500～1/10,000と比較的緩勾配。
- 厳木川は、作礼山（標高887m）、八幡岳（標高764m）と比較的高い山地を抱えており、河床勾配は約1/50～1/500と急勾配。



〔気候区分図〕

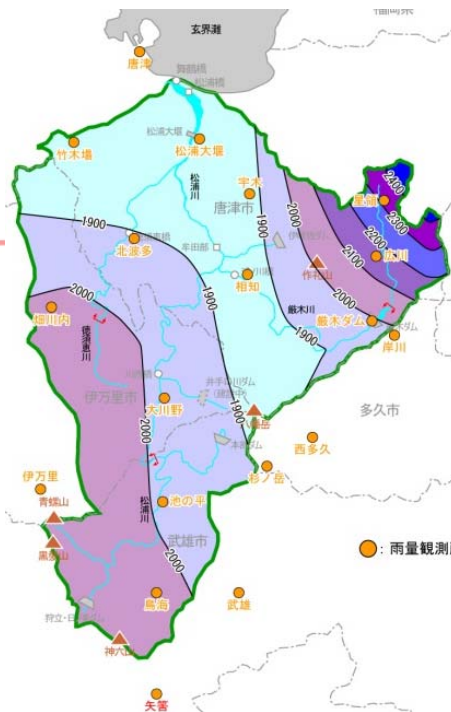
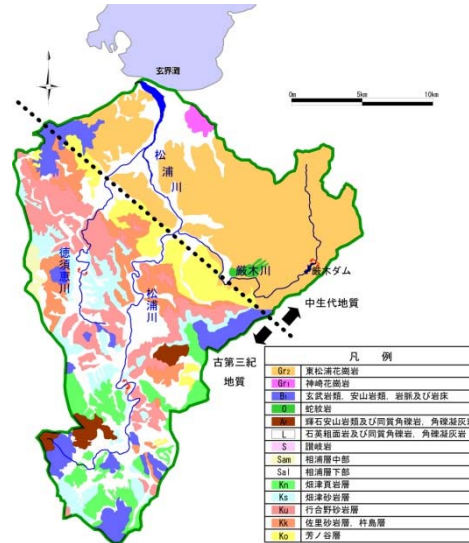


図 松浦川流域の年間降水量分布

1 松浦川水系河川整備計画の概要

〔流域の地質〕

- 松浦川上流域から、徳須恵川上流域の大部分は古第三紀層に属している。
- 松浦川下流域の山地および厳木川流域は、中生代に生成された東松浦花崗岩が大部分を占めている。



松浦川流域地質図

〔流域の産業〕

- 上流域では、温暖な気候を利用したイチゴやハウスみかん、梨などの果樹栽培や林業、畜産が盛ん。特に、伊万里牛や伊万里梨、棚田百選にも選ばれた「葦野の棚田」で生産された棚田米はブランド化され商品価値が高くなっている。
- 中流域では山間平地において、水田や田畑等の農地利用がなされている。
- 下流域では唐津市を中心に観光産業や商工業が盛ん。特に、玄海国定公園・日本三大松原の一つである虹の松原、また、唐津城や唐津焼で有名な窯跡など、歴史的観光施設（史跡）もあることから、全国から多くの観光客が訪れている。



伊万里梨



伊万里牛



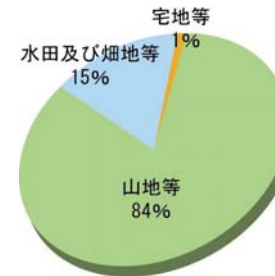
唐津焼



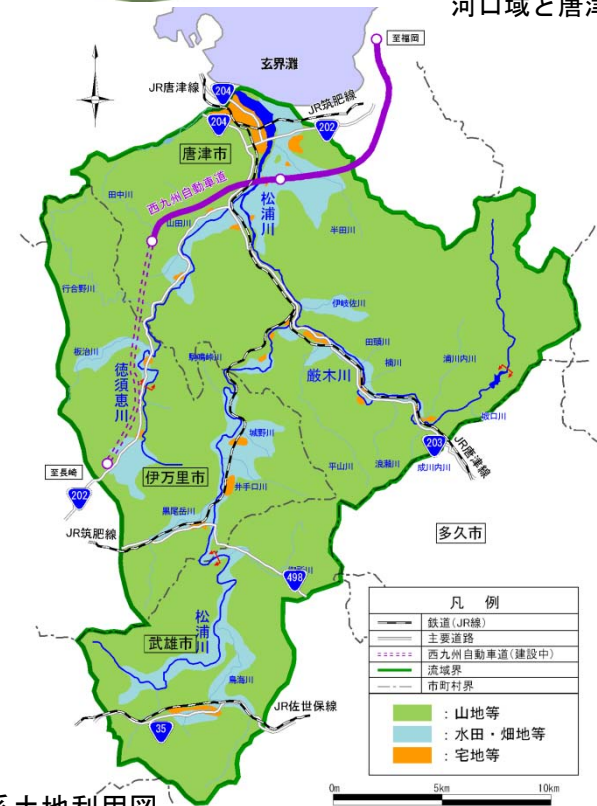
葦野の棚田

〔土地利用〕

- 流域の土地利用は、山地等が84%、田畑等が15%、宅地等が1%。
- 唐津市の市街地に人口が集中。



河口域と唐津市街地



松浦川水系土地利用図

1 松浦川水系河川整備計画の概要

〔流域の河川環境〕

松浦川の概要

■松浦川水系は「汽水域」、「瀬と淵」、「河畔林」、「蛇行河川」により特徴付けられ、多様な動植物の生息・生育基盤となっている。

【松浦川・下流域】

・11k600から松浦大堰までの下流域は松浦大堰の湛水区間であり、徳須恵川合流点の旧河道には湿地的環境が形成されている。
・希少種は、メダカ、ミサゴなど鳥類9種、魚類1種、昆虫類2種、植物1種が確認されている。



【松浦川・汽水域】

・松浦大堰から河口に至る河口部は広大な水面を有し、干潟には、ハクセンシオマネキなどが生息し、河岸には塩生植物であるハマツナなどが生育する。
・希少種はマゴロコガイ、ハマツナをはじめ、魚類0種、底生生物10種、植物6種、鳥類2種が確認されている。



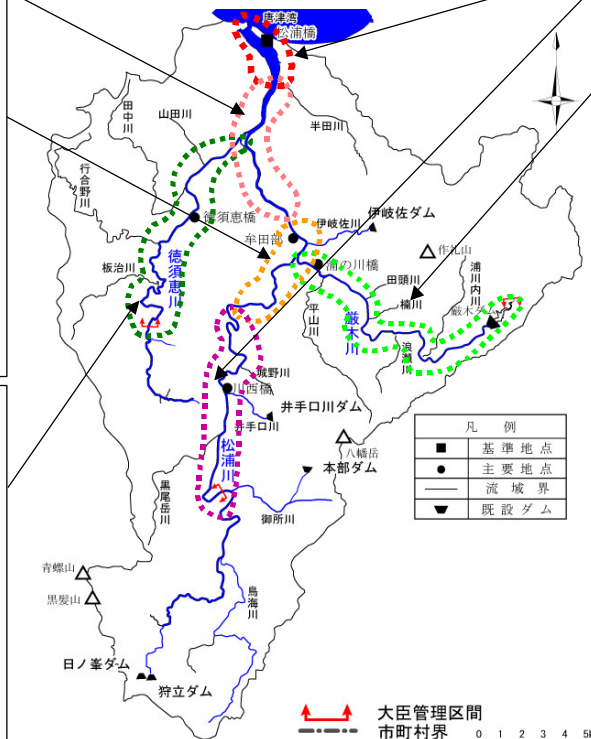
【松浦川・中上流域】

・低山に挟まれたやや開けた平地を流下する。河川幅はやや狭く河床に岩盤が露出する区間が見られる。
・希少種は、メダカ、ヤマセミをはじめ、鳥類3種、魚類1種、底生生物3種、昆虫類1種、植物2種が確認されている。



【松浦川・中流域】

・松浦大堰湛水区間上流から19k000付近までの中流域の河川形態はBb型で瀬と淵が混在する。伊岐佐川との合流部12k500には水系最大の砂河原がある。
・希少種はメダカ、チュウサギをはじめ、鳥類8種、魚類1種、底生動物5種、昆虫類2種、植物14種が確認されている。



【厳木川】

・厳木川は、中上流部は岩河床からなる瀬・淵や水際植生などがあいまって、多様な河川環境を形成している。下流部は中上流部に比べて流れが緩やかになり、砂礫床はアユの産卵場となっている。
・希少種は、アリアケギバチ、オヤニラミ、カジカガエルをはじめ、鳥類14種、両生類1種、魚類3種、底生生物1種、昆虫類3種、植物6種が確認されている。



【徳須恵川】

・6k000付近までは、松浦大堰の湛水区間となっているが、それより上流は、低山に囲まれた区間を瀬・淵を形成し、蛇行しながら流下する。河畔林には、鳥類の休息場や繁殖地となっている。
・希少種は、メダカ、ササゴイをはじめ、鳥類8種、両生類1種、魚類1種、底生生物1種、昆虫類2種、植物4種が確認されている。



※希少種とは「絶滅のおそれのある野生動植物種の保存に関する法律」、環境省のレッドデータブック、「佐賀県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック佐賀」及び「日本における干潟海岸とそこに生息する底生動物の現状」の掲載種を示す。

1 松浦川水系河川整備計画の概要

〔流域の歴史・文化〕

松浦川の概要

- 松浦川沿川は古くから灌漑が行われ、約400年前に築かれた井堰が今もその役割を果たしている。特に、松浦川に位置する大黒井堰、馬ノ頭伏せ越し、萩の尾堰、徳須恵川に位置する岩坂井堰などは歴史的価値の高い堰といわれている。
- 松浦川流域内には、多くの重要文化財・民俗文化財が存在し、国指定史跡、県指定史跡、その他市町指定史跡も多数存在している。唐津焼（肥前陶器）・伊万里焼（肥前磁器）などの陶磁器生産が古くから盛んであり、多くの陶磁器窯跡が史跡に指定されている。

重要文化財・重要民俗文化財位置図



【重要文化財・重要民俗文化財】

- | | |
|-----------------|-------------|
| ① 銅鐘 | ⑫ 唐津曳山 |
| ② 肥前唐津市宇木出土品 | ⑬ 肥前鐘 |
| ③ 旧高取家住宅 | ⑭ 木造如意輪観音坐像 |
| ④ 唐津くんちの曳山行事 | ⑮ 木造薬師如来立像 |
| ⑤ 旧三菱合資会社唐津支店本館 | ⑯ 石造肥前鳥居 |
| ⑥ 銅造如来坐像 | ⑰ 青銅鉢 |
| ⑦ 宇木汲田遺跡出土銅鐸舌 | ⑱ 広瀬浮立 |
| ⑧ 木造千手観音菩薩立像 | ⑲ 府招浮立 |
| ⑨ 銅造菩薩形坐像 | ⑳ 真手野の舞浮立 |
| ⑩ 鉄軸叩き耳付き水指 | ㉑ 荒踊絵馬 |
| ⑪ 天神ノ元遺跡出土絵画付甕棺 | ㉒ かんこ踊 |

史跡位置図



【史跡】

- | |
|------------------|
| ① 葉山尻支石墓群 |
| ② 菜畑遺跡 |
| ③ 肥前陶器窯跡（御茶屋窯跡） |
| ④ 島田塚 |
| ⑤ 鵜殿石仏群 |
| ⑥ 岸岳古窯跡（道納屋窯跡） |
| ⑦ 獅子城跡 |
| ⑧ 肥前陶器窯跡（血屋上窯跡） |
| ⑨ 肥前陶器窯跡（帆柱窯跡） |
| ⑩ 肥前陶器窯跡（血屋窯跡） |
| ⑪ 肥前陶器窯跡（飯洞壺土窯跡） |
| ⑫ 肥前陶器窯跡（飯洞壺土窯跡） |
| ⑬ 岸岳城跡 |
| ⑭ 茅ノ谷一号窯跡 |
| ⑮ 肥前陶器窯跡（小峠窯跡） |
| ⑯ 肥前陶器窯跡（大谷窯跡） |
| ⑰ 肥前陶器窯跡（鎌谷窯跡） |
| ⑱ 肥前陶器窯跡（土師場物原山） |
| ⑲ 肥前磁器窯跡（百間窯跡） |
| ⑳ 簡江窯跡 |



大黒井堰（松浦川）



萩の尾堰（松浦川）



唐津くんちの曳山行事



広瀬浮立



岸岳古窯跡



鵜殿石仏群

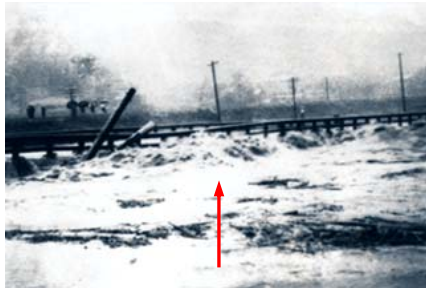
1 松浦川水系河川整備計画の概要

〔主な洪水被害〕

松浦川の概要

- 昭和28年6月、昭和42年7月および平成2年7月の洪水は、松浦川の全域にわたって大きな被害をもたらした。このうち昭和28年6月洪水は、家屋全・半壊流失573戸、床上浸水30,537戸、氾濫面積（農地）1,270haに達し、平成2年7月洪水は、家屋全壊流出3戸、家屋半壊11戸、床上浸水130戸、床下浸水422戸、浸水面積1,623haに達し、近年稀にみる多大な被害となった。
- 平成18年9月洪水では、徳須恵川に多大な被害をもたらし、床上浸水54戸、床下浸水39戸、浸水面積111haに達した。

昭和28年6月洪水



厳木川 9/800付近：唐津市厳木町

平成42年7月洪水



厳木川合流点：唐津市相知町

平成2年7月洪水



松浦川 25/400付近：伊万里市大川町



伊岐佐川合流点付近の状況
(松浦川 12/600付近：唐津市相知町)

平成18年9月洪水



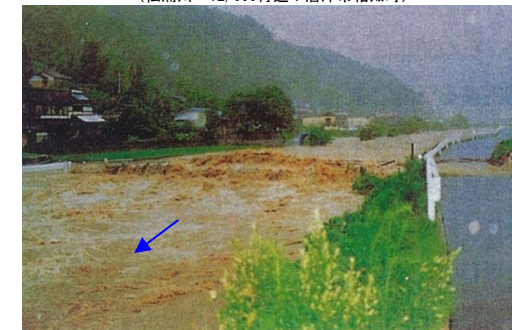
行合野地区の状況
(徳須恵川 6/000付近：唐津市北波多)



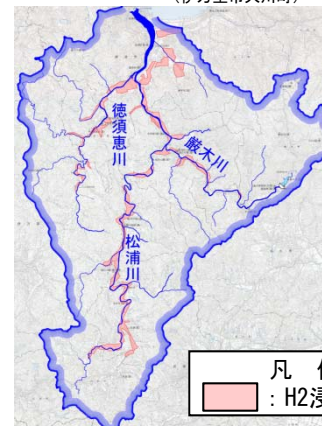
水留橋付近の状況
(徳須恵川 12/600付近：伊万里市南波多町)



大川野輪中堤内浸水状況
(伊万里市大川町)



榎ノ木橋付近の状況
(厳木川 8/200付近：唐津市厳木町)



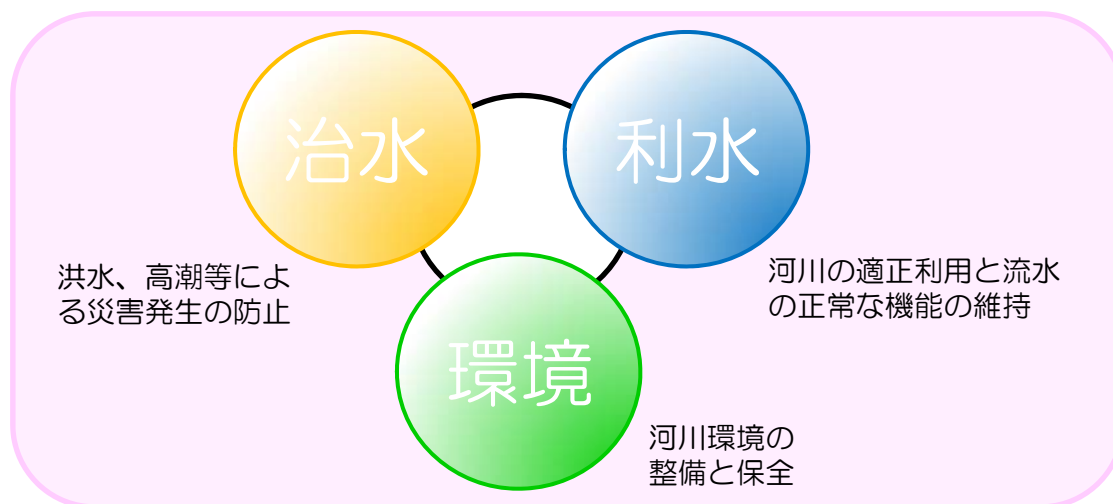
凡 例
：H2浸水範囲



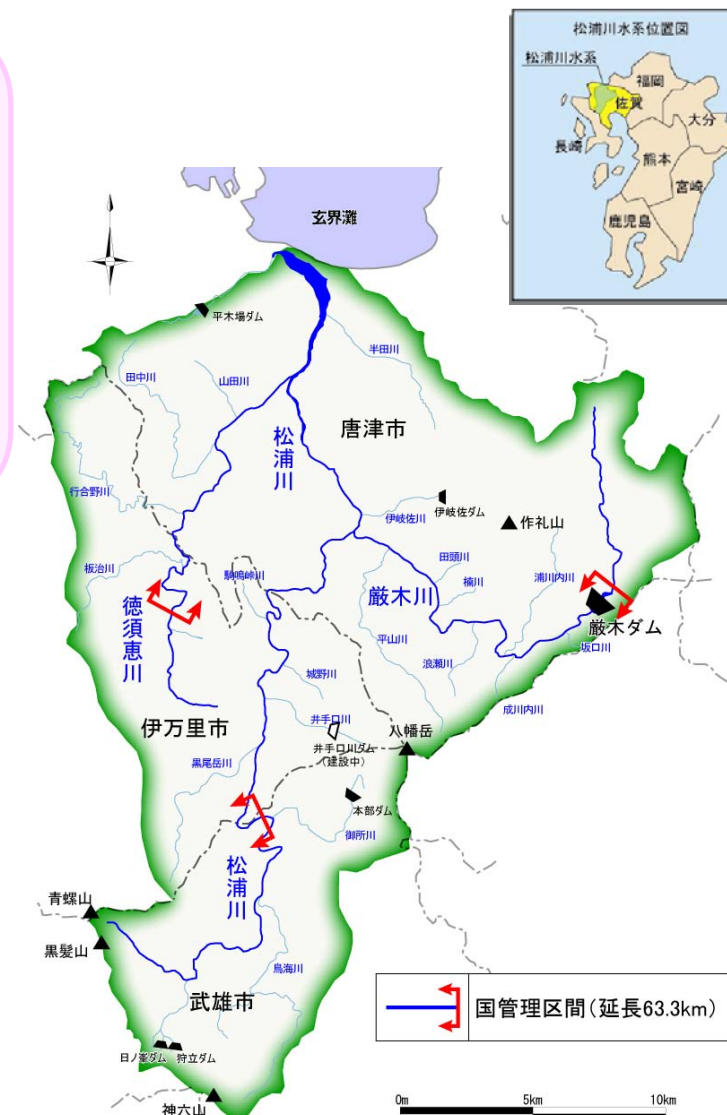
志気橋付近の状況
(徳須恵川 8/200付近：伊万里市北波多町)

1 松浦川水系河川整備計画の概要

〔計画の主旨〕



松浦川水系河川整備計画の基本的な考え方



〔計画の対象期間〕

本河川整備計画の対象期間は、概ね30年としています。
※策定後のこれらの状況の変化や新たな知見・技術の進捗等の変化により、適宜見直しを行うものです。

〔計画の対象区間〕

本河川整備計画の対象区間は、国土交通省の管理区間（大臣管理区間）である63.3kmを対象としています。

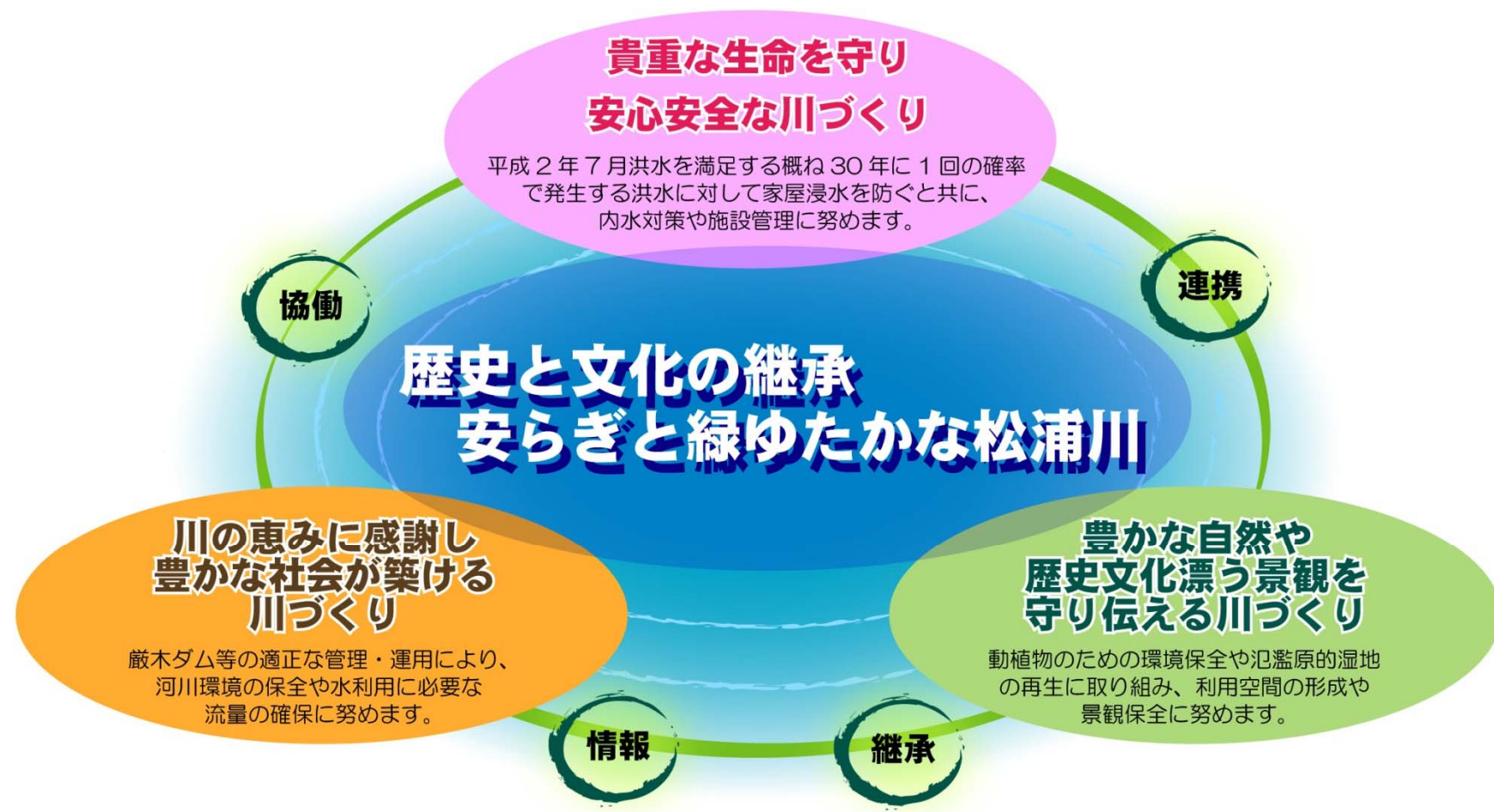
- ・松浦川 : 31.4km
- ・徳須恵川 : 14.5km
- ・厳木川 : 17.4km

1 松浦川水系河川整備計画の概要

基本理念

松浦川水系河川整備計画の基本的な考え方

松浦川水系河川整備計画は、流域住民が安全、安心に暮らせるよう社会基盤の整備を図るとともに、自然豊かな河川環境を保全し、古くから大陸文化の伝来窓口として栄えた流域の風土、歴史、文化を踏まえ、流域の個性や活力を実感できる川づくりを目指すため、以下の基本理念に従い取り組みます。



1 松浦川水系河川整備計画の概要

松浦川水系河川整備計画の構成

現河川整備計画の基本的な考え方

本計画は、治水、利水、環境それぞれにおいて現状の課題を抽出し、計画目標を設定し、目標達成に向けた取り組みをまとめています。

第1章 松浦川流域の概要

- ・流域及び河川の概要
- ・治水の沿革
- ・利水の沿革

第2章 松浦川の現状と課題

治水

- ・洪水対策
- ・堤防の安全性
- ・内水対策
- ・河道の維持管理
- ・危機管理対策

利水

- ・河川水の利用
- ・渇水の発生状況

環境

- ・河川環境
- ・河川空間
- ・河川景観

第3章 目標に対する事項

- ・洪水対策
- ・堤防の安全性の確保
- ・内水対策
- ・維持管理
- ・危機管理対策

- ・河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- ・河川環境
- ・河川空間
- ・河川景観

第4章 河川整備の実施に関する事項

- ・河道の流下能力向上のための対策
- ・堤防の安全性の確保
- ・内水対策

- ・河川流量の管理、取水量等の把握・渇水時の対策
- ・河川利用者との情報連絡体制の構築等
- ・渇水時の対策

- ・動植物の生息・生育環境の保全・再生
- ・水質の保全
- ・河川に流入、投棄されるゴミ等の対策
- ・河川管理者としての総合的な取り組み

- ・河道の維持管理
- ・河川管理施設の機能の維持
- ・水門、排水機場等の操作管理
- ・ダム の 操作管理
- ・河川等における基礎的な調査
- ・危機管理対策

第5章 人と人とのつながりで築く松浦川